

24年度「学校評価アンケート」報告

開明中学校・高等学校
学校評価検討委員会

(1)24年度実施の「学校評価アンケート」について

平成20年度から生徒・保護者にも協力をお願いし取り組んできました「学校評価アンケート」も今年度で5回目の実施となります。その主な目的は本校の教育活動の点検と改善ですが、本校の教育力を計る一つのバロメーターとして非常に役立っております。今年度の「中学、高校別の生徒・保護者アンケート」の結果及び「教職員による自己評価アンケート」の結果を報告いたします。集計結果につきましては別表をご覧ください。以下に、今年度の結果に関し、特徴的なことをまとめておきます。

(2)「アンケート」結果の見方について

評価項目については、次の4段階【A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない】で回答をお願いしています。評価レベルとしてはABを肯定評価、CDを否定評価としてとらえ、課題を整理してみました。

*「生徒・保護者アンケート」について

(1) 5年間の全項目の「肯定評価」の平均の推移は次の通りです。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	項目数
①中学生徒	74.0%	77.6%	76.8%	79.6%	80.6%	33項目
②高校生徒	67.7%	70.5%	73.4%	74.3%	72.9%	35項目
③中学保護者	82.8%	83.1%	81.5%	82.0%	81.2%	28項目
④高校保護者	77.5%	80.9%	81.2%	80.1%	72.8%	27項目
全体平均	75.5%	78.0%	78.2%	79.0%	76.9%	

(2) 高い評価を得た項目については、その評価を落とすことなく更に充実した取り組みを追求します。

*中学・高校の生徒に85%以上の高い評価を得た項目

- ①この学校は、内容のわかりやすい授業が多い。
(中学92.2%)
- ②この学校の先生は、教科の質問にきちんと対応してくれる。
(中学93.2% 高校93.2%)
- ③この学校では、宿題や課題がよく出される。
(中学97.5% 高校88.9%)
- ④この学校の先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。
(中学88.8%)
- ⑤この学校では、他の人に知られたくないプライバシー(個人情報)は守ってくれる。

- (中学 8 6. 5%)
- ⑥この学校では、必要なとき保健室やカウンセリングルームで悩みの相談ができる。
(中学 8 5. 2%)
- ⑦この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。
(中学 8 7. 9%)
- ⑧この学校の行事の数は適切である。
(中学 9 2. 6%)
- ⑨行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行われている。
(中学 9 0. 7%)
- ⑩⑫自分のクラスは行事に積極的に取り組んでいる。
(中学 9 1. 1%)
- ⑪私は、授業中、私語や居眠りをせず、一生懸命理解しようとしている。
(中学 8 5. 6% 高校 8 6. 5%)
- ⑫私は、宿題や課題があればきちんと取り組んでいる。
(中学 8 8. 4% 高校 8 6. 1%)
- ⑬私は、学校から保護者へのプリントは必ず渡している。
(中学 8 5. 4%)
- ⑭私は、この学校に悩みなど相談できる友人がいる。
(高校 8 5. 3%)
- ⑯私の学校生活は充実している。
(中学 8 6. 1%)
- * 中学・高校の保護者に 90%以上の高い肯定評価を得た項目**
- ①この学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。
(中学 9 2. 0%)
- ②この学校では、宿題や課題がよく出されている。
(中学 9 6. 0% 高校 9 1. 1%)
- ③この学校の学級懇談会の回数は適切である。
(中学 9 3. 0%)
- ④この学校では、生徒に関するプライバシーが守られている。
(中学 9 1. 1%)
- ⑤この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。
(中学 9 0. 5%)
- ⑥この学校の行事の数は適切である。
(中学 9 3. 0%)
- ⑦学校行事は、子どもたちが楽しく参加できるように行われている。
(中学 9 4. 5%)

高校は仮設校舎に移ったことが影響しているのか、例年に比べて、評価が少し下がっているようです。しかし、全体的には中学・高校とも生徒の学校に対する満足度はかなり高く、学習指導だけでなく日頃の生活面で、よく面倒をみてもらっていると感じている生徒が多いようです。

(3)肯定評価が60%以下の項目については、その項目に対する基本的な考え方と改善策等を示しておきます。

***生活指導**

〔高校生徒〕『この学校は、遅刻する生徒が少ない』⇒21年度が48.7%、22年度が54.2%、23年度は57.4%、そして24年度は52.1%でした。環境が変わったことが影響しているのでしょうか。今年度は少し落ちてしまいました。保護者と協力して、改善に努めるつもりです。ちなみに、中学は24年度、81.8%でした。

***行事・生徒会・部活動**

〔高校生徒〕『この学校のクラブ活動は盛んである』（44.9%）『この学校のクラブ活動の日数は適切である』（47.9%）⇒本校では、勉学とクラブ活動の両立ができるように「クラブ活動基準」を定めております。練習日は1週間に3日以内、練習時間も平日7時・土曜日6時までと定められており、活動期間も高校2年次の最後の公式戦終了時までとなっています。多分、それに物足りなさを感じている生徒が結構いるのでしょうか。また、今年度は校地が分かれ、移動などが不便であったことや仮設校地のグラウンドに慣れるのに時間を要したことなども不満の要因になったのかも知れません。いずれにせよ、クラブ規定があるからこそ、生徒達はクラブを楽しみながら勉学に励むことができると言ってもいいでしょう。実際、中学・高校ともに生徒のクラブ活動参加率は非常に高いです。下の「中学・高校の部員数実績」を見ると、クラブ活動に参加している生徒の割合が中学では実に8割を超えていることがわかります。

ちなみに、中学では「クラブ活動が盛んである」が63.6%、「クラブの日数は適切である」が66.8%でした。

中学・高校の部員数実績

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
中学	運動部	313	322	325	374	372
	文化部	150	182	216	187	208
	小計	463 (66.4%)	504 (68.6%)	541 (70.4%)	561 (76.4%)	580 (82.6%)
高校	運動部	185	175	186	212	196
	文化部	86	103	107	140	138
	小計	271 (47.9%)	278 (49.1%)	293 (59.7%)	352 (65.4%)	334 (57.5%)
中高	合計	734 (58.1%)	782 (60.1%)	834 (66.2%)	913 (71.8%)	914 (71.2%)

***あなた自身の振り返り**

〔中学・高校生徒〕『私は、学校の図書館や自習室をよく利用している』

(中学34.7% 高校45.9%)

⇒今年度、中学には自習室はありません。よって、図書室の利用者のみの割合になっています。また、高校では自習室はありますが、高校3年の利用が圧倒的に多いです。中学と高校の他学年では教室を自習室として利用しているクラスがあり、その結果全体的には利用は少なくなっています。なお、図書館については、時間的な余裕がないのか、頻繁に利用する生徒は限られているようです。

(4)『教職員による自己評価アンケートについて』

肯定評価が60%以下のいくつかの項目について、基本的な考え方及びその改善策等についても示しておきます。尚、生徒・保護者アンケートと項目内容が重なるものについては、その一部を省かせていただきます。

〔生活指導〕『本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。』

⇒生活指導には「治療よりも予防」という観点が必要ですが、「予防」のための手だてが十分に打てていないようです。頭髪や服装など日常的なことであれば生活指導部でなくとも、全ての教員が指導するという基本スタイルを確立することが必要だと思われます。生活指導をテーマに教員の研修会実施を検討しています。

〔特別教育〕『本校では、生徒会活動が生徒の主体的活動として発展するように支援している。』

⇒本校の生徒会活動の範囲は限られています。文化祭を除いては、あまり活躍できる場面はありません。特に、昨年度の文化祭は中学しか実施しておりませんので、生徒会の関わる範囲はかなり縮小されていました。今年度も文化祭は中学のみですが、高校では昨年同様に文化祭に代わる行事を計画し、昨年度より内容・運営方法などをグレードアップすることによって、生徒会が関わる領域の拡大を図りたいと考えています。

『本校では、部活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるように態勢を整えている』

⇒本校はクラブ活動も出来る進学校としてその態勢を整えています。アンケート結果から、生徒にもっとクラブ活動をさせてやりたいという教員の熱意は感じられますが、生徒のクラブ参加率の高さを考えると、今のスタイルが現在の本校に合っていると思います。

〔教職員研修〕

『本校では、必要な教育課題での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。』
⇒学校の教育力向上のためには、教員の研修は非常に重要であると考えています。今年度も下記の研修会を実施しました。

1. 全員研修会（「いじめ問題」に関して研修会を実施。）
2. 教科研修会（Z会職員による国語の指導に関する講習会など）

3. 主任・センター研修会（各学年・部署の教育課題について方針検討・活動の点検と総括）
4. 学外研修会（様々な教育課題に関して学外研修、教科・受験指導に関する学外研修の奨励）

個人レベルでは、ある程度、研修を深めることができているのですが、もっと全体が共有できる内容のものを企画しようと思っています。

〔まとめ〕

学校評価の目的は、その結果に基づいて、教育活動と学校運営を改善し、教育水準の向上を図ることです。教員について言うと、教員が自分で自分の指導力を評価する機会は日常的にあまりありません。だから、自分の指導が生徒や保護者からどういう捉え方をされているかを知ることは非常に意味があるのです。結果は励みになるものもありますし、逆に非常に厳しいものもあります。いずれにしても、結果をしっかりと受けとめることによって、指導力の向上に繋げることができます。

また、保護者に学校方針がきちんと伝わっているか、生徒が安心して学校生活を送っているかなど、このアンケートを通して貴重な情報を得ることもできます。今回も、学校としての課題をいくつか認識することができました。それらの課題に取り組む中で、本校の教育活動と学校運営の改善を図っていきたいと考えています。

以上